

センシング技術応用研究会第225回研究例会・(一社)次世代センサ協議会合同研究例会
「情報技術の持続可能な発展にむけたエッジコンピューティング」

ご案内

今回の研究会はセンシング技術応用研究会と(一社)次世代センサ協議会と共催で行います。
参加をご希望の方は11月13日(月)までに事務局までお申し込みください。
皆様のご参加をお待ち申し上げます。

共同研究例会参加費: 会員無料、非会員¥10,000

記

日時 令和5年11月20日(月) 13:15~16:45

会場 ■堺市産業振興センター 4階 セミナー室2 (オンライン参加可)

(大阪府堺市北区長曾根町183-5)

アクセス OsakaMetro御堂筋線『なかもず駅』8番出口・南海高野線『中百舌鳥駅』

北出口より徒歩約4分

(駅前北側ロータリーからコンビニや銀行方向へ進み右折。交差点(中百舌鳥駅前公園)

のそばにあります)

<https://www.sakai-ipc.jp/about/access.html>

■オンライン開催

参加者には事前にWeb招待メールをお送りいたします。また、資料も事前にURLからダウンロードして頂きます。

※なお、配信の録画および資料の転送は固くお断りいたします。

参加費 会員無料 / 非会員¥10,000

主催 センシング技術応用研究会

共催 (一社)次世代センサ協議会

《プログラム》

開会挨拶

13:15-13:20

センシング技術応用研究会 会長 筒井 博司 氏

<講演>

1. 13:20~14:20 (質疑応答を含む)

「SIPフィジカル第2期成果である「エッジプラットフォーム」のご紹介」

株式会社デバイス&システム・プラットフォーム開発センター 取締役 岡山 義光 氏

CPS(Cyber Physical System)を支えるエッジコンピューティングを実現するために、内閣府戦略的イノベーションプログラム(SIP)において開発を行った「My-IoTプラットフォーム」についてご紹介します。

<講演>

2. 14:30～15:30 (質疑応答を含む)

「物理現象を計算資源として利用するエッジAIデバイスの展望」

大阪公立大学大学院 工学研究科・電子物理工学分野 准教授 吉村 武 氏

非線形性や短期記憶性を有する物理現象を用いて人工ニューラルネットワークをハードウェア実装する物理リザーコンピューティングが、エッジAIデバイスとして注目されています。本講演では現状を概観し、圧電MEMSによる実証例を紹介します。

<講演>

3. 15:40～16:40 (質疑応答を含む)

「器用なロボットのための超小形触覚センサとそのAIによる認識技術」

立命館大学 情報理工学部 教授 野間 春生 氏

立命館大学 情報理工学部 坪倉 奏太 氏

ロボットを器用にすることを目指して開発しているMEMS技術を応用した超小形触覚センサとそのセンサを活用して、人の紙めくり動作をリザーコンピューティングをもちいて分析した結果を紹介します。

閉会挨拶

16:40～16:45

(一社)次世代センサ協議会 会長 小林 彬 氏